



いろいろな臓器のお話

おはようございます。こんにちは。こんばんは。本日も病院だよりを読んでいただきありがとうございます。大間病院の木村と申します。



今回は、人間のいろいろな臓器のお話をしたいと思います。なるべくわかりやすく説明させていただきますので、最後まで読んでいただくと嬉しいです。

- ①心臓：心臓は全身に血液を送るポンプです。全身に血液が行き渡らないと、さまざまな臓器の働きが弱ってしまいます。また心臓の働きが弱くなるとむくんできたり、息苦しくなったりする場合があります。
- ②肺：酸素を取り込み、二酸化炭素を外に出す呼吸を行う臓器です。
- ③脳：目や耳から入った感覚を処理したり、また手や足を動かしたり喋ったり、歩いたり呼吸したりする命令を出す臓器です。ほかにもさまざまな働きはありますが、書ききれないです。よく知られている脳梗塞や脳出血では、脳の働きが落ちるため

手足が不自由になったり、喋りづらくなったりします。

- ④胃、小腸、大腸：ご存知のとおり、食べたものを吸収する臓器です。栄養や水分を吸収します。
- ⑤肝臓：栄養素を分解処理したり、アルコールを分解したりします。血糖値を調整する働きもあります。また、消化を助ける胆汁を作ります。
- ⑥膵臓：消化を助けるものを作ったり、血糖値を調整したりします。
- ⑦腎臓：左右に1つずつ、2つあります。尿をつくり、老廃物を外に排出します。

このほかにもたくさん臓器があります。甲状腺、食道、胆のう、脾臓、膀胱、子宮、副腎などなど。また皮膚や筋肉、骨も臓器になります。まだまだ臓器はたくさんあります。

これらの臓器は一つひとつ独立して働いているのではなく、協力しあって、お互い影響を及ぼしながら働いています。ひとつの働きが落ちるとほかの臓器が頑張ったり、逆に負担がかかることがあります。大間病院では幅広く診療しておりますので、些細なことでもご相談いただくと嬉しいです。読んでいただきありがとうございました。



うんたん 雲丹の活動日記

今月の雲丹（うんたん）の活動



7月9日(金)、雲丹（うんたん）は佐井村保育所の子どもたちと一緒に中道地区でカシスの摘み取り体験をしてきました。

子どもたちは摘み方を教わると、枝をかき分けて実を探し、一つひとつ丁寧に収穫していました。

あっという間に袋いっぱい収穫した子どもたちに、雲丹（うんたん）はびっくりしたそうです。

雲丹（うんたん）からひとこと

「みんないっぱい取れたの～」